

第 58 回 高知県献血推進協議会

資 料

高知県の血液事業の概要について

全国に先がけ少子高齢化が進行している本県においては、今後、献血をお願いできる人口がますます減少していくことが想定されるため、これからの献血を担っていただく若い世代の方々を中心に、広く県民の皆様に献血への一層のご理解とご協力をいただく必要性が増している。

I 献血の状況

1. 年度別献血状況

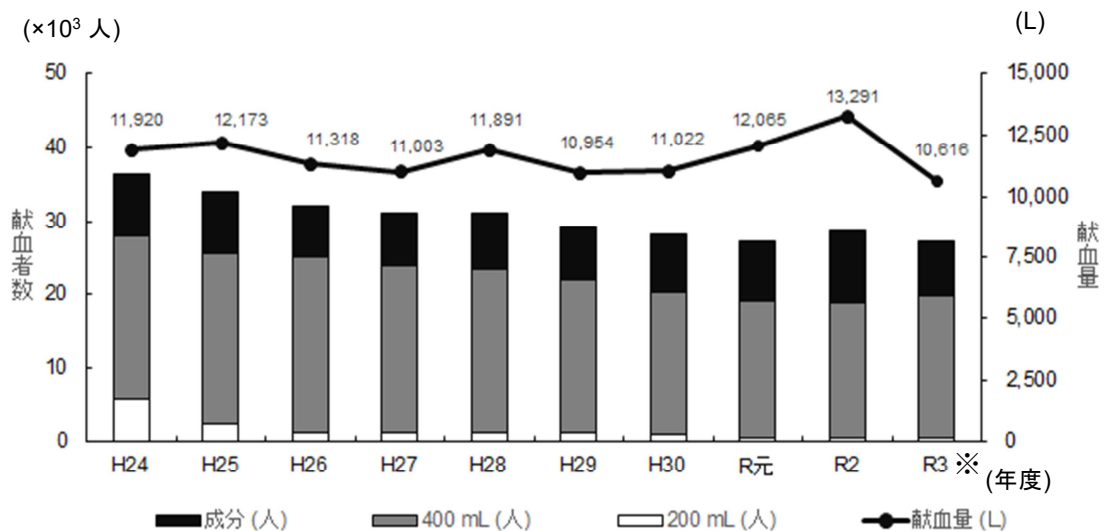
年度別献血状況を下表に、また、その推移をグラフに示した。令和3年度（令和3年4月～令和4年1月）における献血者は23,993人であり、このうち200 mL献血者は363人、400 mL献血者は16,036人、成分献血者は7,594人であった。また、献血量は10,616 Lであった。

○年度別献血状況

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3 4月～1月	R3年度 推計	R3年度 目標値
200 mL(人)	2,428	1,082	1,026	1,069	1,146	991	458	404	493	363	436	360
400 mL(人)	23,046	23,952	22,869	22,308	20,904	19,394	18,632	18,542	19,227	16,036	19,243	18,711
成分(人)	8,371	8,558	7,088	7,278	7,657	7,137	7,842	8,203	9,707	7,594	9,113	9,792
計(人)	33,845	33,592	30,983	30,655	29,707	27,522	26,932	27,149	29,427	23,993	28,792	28,863
献血量(L)	11,920	12,173	11,318	11,003	11,891	10,954	11,022	12,065	13,291	10,616	12,824	12,907

(R3年度推計は4月～1月分の実績から割戻しした推計値)

○県内の献血者数と献血量(グラフ)



※R3年度については、R3年4月～R4年1月の実績

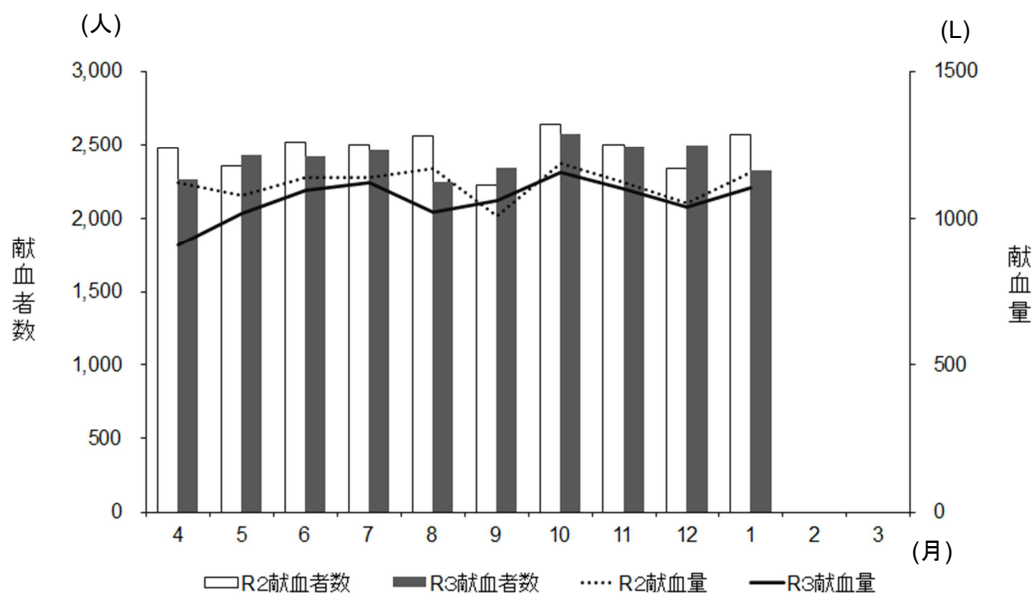
2. 月別献血者数

月別献血者状況を下表に、また、その推移をグラフに示した。5、9、12月以外の月で、昨年度の献血者数を下回っている。また、高知県の令和4年1月末現在の献血者数は前年同時期の97.2%、献血量は95.1%となっている。

○月別献血者数

月	献血者数(人)								献血量(L)				
	令和3年度						令和2年度		令和3年度	令和2年度	前年増減	前年比	
	200 mL	400 mL	血漿	血小板	成分計	計	計	前年増減					前年比
4	47	1,480	552	176	728	2,255	2,478	△ 223	91.0%	908.7	1120.3	△ 211.6	81.1%
5	32	1,623	616	152	768	2,423	2,350	73	103.1%	1016.0	1077.4	△ 61.4	94.3%
6	37	1,595	590	197	787	2,419	2,522	△ 103	95.9%	1093.7	1135.9	△ 42.2	96.3%
7	37	1,592	610	220	830	2,459	2,503	△ 44	98.2%	1118.7	1139.3	△ 20.6	98.2%
8	35	1,427	565	211	776	2,238	2,564	△ 326	87.3%	1019.2	1166.4	△ 147.2	87.4%
9	31	1,508	596	202	798	2,337	2,220	117	105.3%	1060.0	1008.1	51.9	105.1%
10	44	1,712	616	201	817	2,573	2,641	△ 68	97.4%	1155.8	1183.9	△ 28.1	97.6%
11	34	1,774	503	169	672	2,480	2,499	△ 19	99.2%	1101.0	1120.6	△ 19.6	98.2%
12	28	1,786	468	207	675	2,489	2,340	149	106.4%	1039.9	1051.3	△ 11.4	98.9%
1	38	1,539	515	228	743	2,320	2,572	△ 252	90.2%	1103.4	1155.6	△ 52.2	95.5%
2													
3													
合計	363	16,036	5,631	1,963	7,594	23,993	24,689	△ 696	97.2%	10,616.4	11,159	△ 542.4	95.1%

○令和3年度(4月～1月)及び令和2年度の月別献血者数及び献血量(グラフ)



3. 年代別献血状況

■ 年代別献血者数

年代別献血者数を下表に、またその割合を次ページグラフに示した。令和3年度（令和3年4月～令和4年1月）における献血者の年代別構成では、50 - 60代が最も多く（38.8%）、次いで40代、30代、20代、10代の順となっている。

〈令和3年度（令和3年4月～令和4年1月）〉

（単位：人）

	16～19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～69歳		合計		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
200 mL	14	121	2	82	1	35	1	50	1	56	19	344	363
400 mL	458	196	1,679	864	1,853	808	2,900	1,198	4,322	1,758	11,212	4,824	16,036
血漿	46	33	317	384	474	534	906	537	1,662	738	3,405	2,226	5,631
血小板	24	1	148	20	251	49	636	67	747	20	1,806	157	1,963
合計	542	351	2,146	1,350	2,579	1,426	4,443	1,852	6,732	2,572	16,442	7,551	23,993

〈令和2年度（令和2年4月～令和3年1月）〉

（単位：人）

	16～19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～69歳		合計		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
200 mL	29	154	4	78	1	31	6	60	2	53	42	376	418
400 mL	343	216	1,655	809	1,981	869	3,063	1,356	4,092	1,746	11,134	4,996	16,130
血漿	51	53	366	479	552	552	1,175	671	1,960	638	4,104	2,393	6,497
血小板	12	1	135	12	272	48	571	63	523	7	1,513	131	1,644
合計	435	424	2,160	1,378	2,806	1,500	4,815	2,150	6,577	2,444	16,793	7,896	24,689

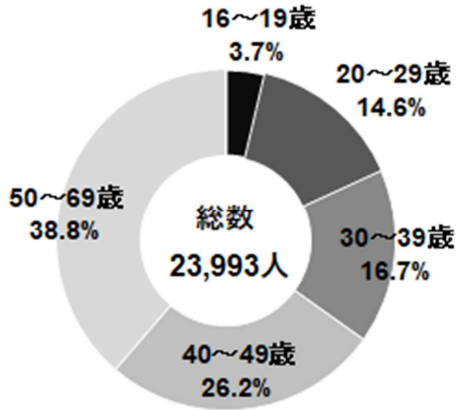
〈令和2年度（令和2年4月～令和3年3月）〉

（単位：人）

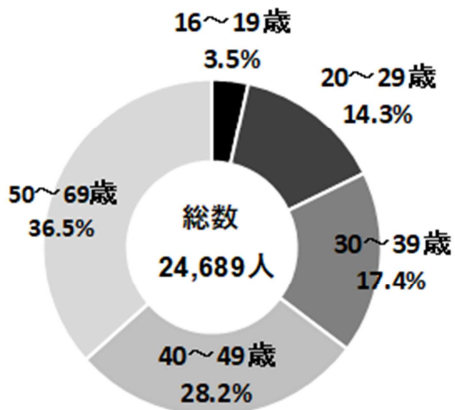
	16～19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～69歳		合計		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
200 mL	35	183	6	95	1	36	8	66	2	61	52	441	493
400 mL	395	245	1,941	952	2,407	1,022	3,665	1,596	4,878	2,126	13,286	5,941	19,227
血漿	60	70	420	576	665	675	1,365	783	2,302	783	4,812	2,887	7,699
血小板	13	1	164	19	313	61	691	78	655	13	1,836	172	2,008
合計	503	499	2,531	1,642	3,386	1,794	5,729	2,523	7,837	2,983	19,986	9,441	29,427

■年代別献血者割合

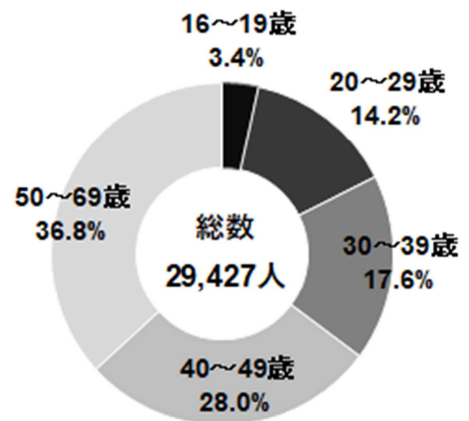
令和3年度 年代別献血者割合(%)
(令和3年4月～令和4年1月)



令和2年度 年代別献血者割合(%)
(令和2年4月～令和3年1月)

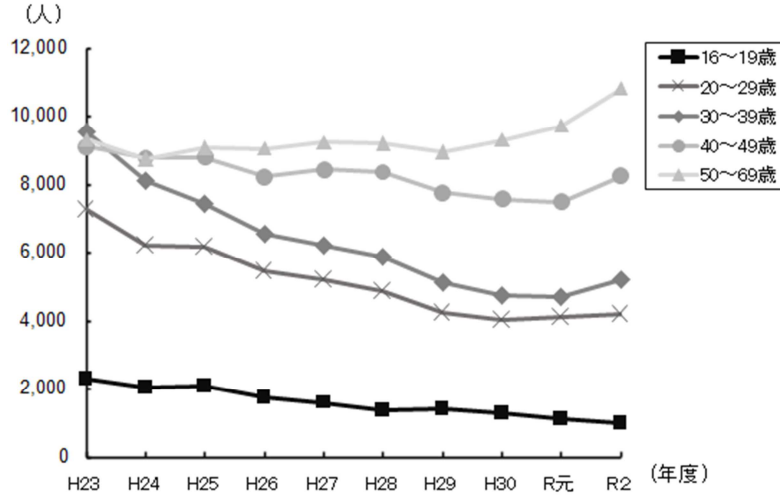


令和2年度 年代別献血者割合(%)
(令和2年4月～令和3年3月)



■年代別献血者数推移(平成23年度～令和2年度)

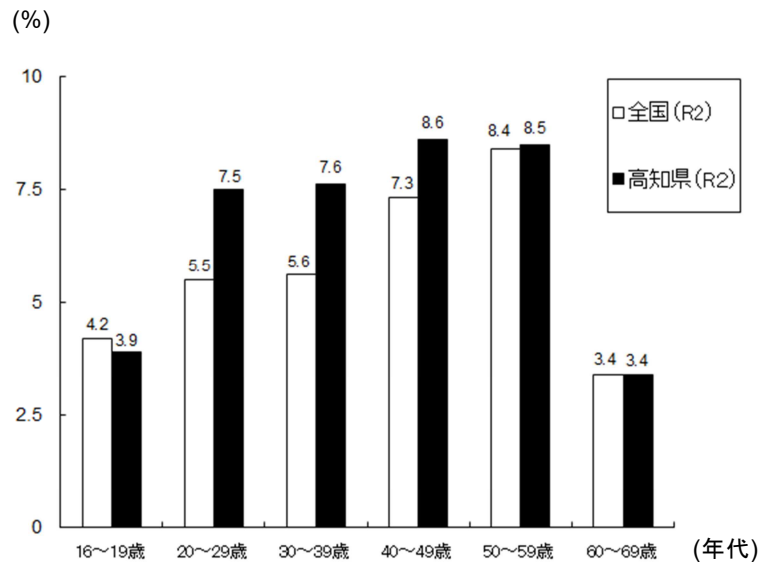
平成23年度以降減少傾向が続いていたが、令和2年度の献血者数は増加した。また、10代から30代までの若い世代の献血者数の減少傾向が見られる。



■年代別献血率 (献血者数／献血対象年齢人口)

令和2年度における高知県の献血率を全国と比較すると、10代、60代を除いて高知県が高い割合を示している。また、年代合計を比較すると高知県が全国よりも0.8%上回っている。

年代(歳)	R2献血率(%)	
	全国	高知県
16~19	4.2	3.9
20~29	5.5	7.5
30~39	5.6	7.6
40~49	7.3	8.6
50~59	8.4	8.5
60~69	3.4	3.4
年代合計	6.0	6.8



出典：日本赤十字社「令和2年度血液事業年度報」

4. 献血種別、施設別献血状況

令和3年度（令和3年4月～令和4年1月）における受入施設別の献血者数は献血ルームが11,834人(49.3%)、献血バスが12,159人(50.7%)であった。昨年同時期と比較すると、献血ルームでの献血者数は大幅に減少した一方で、献血バスでの献血者数はほぼ同等であった。

〈令和3年度(令和3年4月～令和4年1月)〉

	献血ルーム (ハートピアやまもも)			献血バス (保有3台)			合 計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
200 mL(人)	19	344	363	0	0	0	19	344	363
400 mL(人)	2,749	1,128	3,877	8,463	3,696	12,159	11,212	4,824	16,036
血漿(人)	3,405	2,226	5,631	0	0	0	3,405	2,226	5,631
血小板(人)	1,806	157	1,963	0	0	0	1,806	157	1,963
合 計(人)	7,979	3,855	11,834	8,463	3,696	12,159	16,442	7,551	23,993
男 女 比	67.4%	32.6%	100%	69.6%	30.4%	100%	68.5%	31.5%	100%
施 設 比	33.3%	16.1%	49.3%	35.3%	15.4%	50.7%	-	-	-
延 日 数	301日(平均39.3人/日)			276日(平均44.1人/日)			577日(平均41.6人/日)		

〈令和2年度(令和2年4月～令和3年1月)〉

	献血ルーム (ハートピアやまもも)			献血バス (保有3台)			合 計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
200 mL(人)	42	376	418	0	0	0	42	376	418
400 mL(人)	2,778	1,318	4,096	8,356	3,678	12,034	11,134	4,996	16,130
血漿(人)	4,104	2,393	6,497	0	0	0	4,104	2,393	6,497
血小板(人)	1,513	131	1,644	0	0	0	1,513	131	1,644
合 計(人)	8,437	4,218	12,655	8,356	3,678	12,034	16,793	7,896	24,689
男 女 比	66.7%	33.3%	100%	69.4%	30.6%	100%	68.0%	32.0%	100%
施 設 比	34.2%	17.1%	51.3%	33.8%	14.9%	48.7%	-	-	-
延 日 数	301日(平均42.0人/日)			276日(平均43.6人/日)			577日(平均42.8人/日)		

〈令和2年度(令和2年4月～令和3年3月)〉

	献血ルーム (ハートピアやまもも)			献血バス (保有3台)			合 計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
200 mL(人)	52	441	493	0	0	0	52	441	493
400 mL(人)	3,235	1,552	4,787	10,051	4,389	14,440	13,286	5,941	19,227
血漿(人)	4,812	2,887	7,699	0	0	0	4,812	2,887	7,699
血小板(人)	1,836	172	2,008	0	0	0	1,836	172	2,008
合 計(人)	9,935	5,052	14,987	10,051	4,389	14,440	19,986	9,441	29,427
男 女 比	66.3%	33.7%	100%	69.6%	30.4%	100%	67.9%	32.1%	100%
施 設 比	33.8%	17.2%	50.9%	34.2%	14.9%	49.1%	-	-	-
延 日 数	360日(平均41.6人/日)			332日(平均43.5人/日)			692日(平均42.5人/日)		

5. 献血不適格者の状況

令和3年度（令和3年4月～令和4年1月）に献血を申し込んだ25,753人のうち、献血ができなかった者は1,760人で、申込者のうち6.8%を占めた。

令和2年度の同時期の状況を比較すると献血不適格者の構成比の減少が見られた。

〈令和3年度(令和3年4月～令和4年1月)〉

	申込者数	献血ができなかった者						献血者数		
		比重不足		その他		計		人数	構成比(%)	
		人数	構成比(%)	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)			
男 (人)	200mL	21	0	0.0	2	9.5	2	9.5	19	90.5
	400mL	11,709	88	0.8	409	3.5	497	4.2	11,212	95.8
	血漿	3,475	22	0.6	48	1.4	70	2.0	3,405	98.0
	血小板	1,887	23	1.2	58	3.1	81	4.3	1,806	95.7
	計	17,092	133	0.8	517	3.0	650	3.8	16,442	96.2
女 (人)	200mL	410	32	7.8	34	8.3	66	16.1	344	83.9
	400mL	5,622	533	9.5	265	4.7	798	14.2	4,824	85.8
	血漿	2,464	142	5.8	96	3.9	238	9.7	2,226	90.3
	血小板	165	4	2.4	4	2.4	8	4.8	157	95.2
	計	8,661	711	8.2	399	4.6	1,110	12.8	7,551	87.2
合計 (人)	200mL	431	32	7.4	36	8.4	68	15.8	363	84.2
	400mL	17,331	621	3.6	674	3.9	1,295	7.5	16,036	92.5
	血漿	5,939	164	2.8	144	2.4	308	5.2	5,631	94.8
	血小板	2,052	27	1.3	62	3.0	89	4.3	1,963	95.7
	計	25,753	844	3.3	916	3.6	1,760	6.8	23,993	93.2

〈令和2年度(令和2年4月～令和3年1月)〉

	申込者数	献血ができなかった者						献血者数		
		比重不足		その他		計		人数	構成比(%)	
		人数	構成比(%)	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)			
男 (人)	200mL	44	0	0.0	2	4.5	2	4.5	42	95.5
	400mL	11,687	123	1.1	430	3.7	553	4.7	11,134	95.3
	血漿	4,208	25	0.6	79	1.9	104	2.5	4,104	97.5
	血小板	1,576	13	0.8	50	3.2	63	4.0	1,513	96.0
	計	17,515	161	0.9	561	3.2	722	4.1	16,793	95.9
女 (人)	200mL	451	36	8.0	39	8.6	75	16.6	376	83.4
	400mL	6,046	738	12.2	312	5.2	1,050	17.4	4,996	82.6
	血漿	2,548	82	3.2	73	2.9	155	6.1	2,393	93.9
	血小板	139	4	2.9	4	2.9	8	5.8	131	94.2
	計	9,184	860	9.4	428	4.7	1,288	14.0	7,896	86.0
合計 (人)	200mL	495	36	7.3	41	8.3	77	15.6	418	84.4
	400mL	17,733	861	4.9	742	4.2	1,603	9.0	16,130	91.0
	血漿	6,756	107	1.6	152	2.2	259	3.8	6,497	96.2
	血小板	1,715	17	1.0	54	3.1	71	4.1	1,644	95.9
	計	26,699	1,021	3.8	989	3.7	2,010	7.5	24,689	92.5

〈令和2年度(令和2年4月～令和3年3月)〉

	申込者数	献血ができなかった者						献血者数		
		比重不足		その他		計		人数	構成比(%)	
		人数	構成比(%)	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)			
男 (人)	200mL	54	0	0.0	2	3.7	2	3.7	52	96.3
	400mL	13,923	141	1.0	496	3.6	637	4.6	13,286	95.4
	血漿	4,927	31	0.6	84	1.7	115	2.3	4,812	97.7
	血小板	1,912	15	0.8	61	3.2	76	4.0	1,836	96.0
	計	20,816	187	0.9	643	3.1	830	4.0	19,986	96.0
女 (人)	200mL	533	42	7.9	50	9.4	92	17.3	441	82.7
	400mL	7,146	847	11.9	358	5.0	1,205	16.9	5,941	83.1
	血漿	3,085	104	3.4	94	3.0	198	6.4	2,887	93.6
	血小板	183	5	2.7	6	3.3	11	6.0	172	94.0
	計	10,947	998	9.1	508	4.6	1,506	13.8	9,441	86.2
合計 (人)	200mL	587	42	7.2	52	8.9	94	16.0	493	84.0
	400mL	21,069	988	4.7	854	4.1	1,842	8.7	19,227	91.3
	血漿	8,012	135	1.7	178	2.2	313	3.9	7,699	96.1
	血小板	2,095	20	1.0	67	3.2	87	4.2	2,008	95.8
	計	31,763	1,185	3.7	1,151	3.6	2,336	7.4	29,427	92.6

II 献血推進への取組み(令和3年度)

令和3年度血液事業の概要

1. 広報活動

献血の重要性、必要性について広く県民の皆様にご理解とご協力をいただくために、市町村や高知県赤十字血液センター（以下、血液センター）など関係団体との連携により、各種キャンペーンの開催や広報誌、ポスター、チラシの配布、また、各報道機関の活用等により、献血に関する知識の普及と啓発に努めている。

<作成資材・配布ポスター紹介>

(1) 献血呼びかけポケットティッシュ

街頭での啓発活動時や献血協力者に対して配布。



(2) 「献血バスがやってきます」お知らせ用チラシ(A4)

けんけつちゃんとその仲間たちのイラスト等が印刷されており、献血場所や時間等が記入できるもの。血液センターを通して献血バス受入れ施設へ配布。



(3) 血液事業の現状 令和3年度

令和2年度実績や血液事業の沿革などを記載。



(4) 「愛の血液助け合い運動」キャンペーンうちわ

イベントや献血バスにて配布。



2. 「愛の血液助け合い運動」月間(7月1日から7月31日)

(1) 関係資料



「愛の血液助け合い運動」キャンペーンポスター
(厚生労働省作成ポスター)

【配布先】各市町村、福祉保健所、各県税事務所、各土木事務所、各警察署、各私立高校、高知市教育委員会、県教育委員会（公立高校への掲示依頼）、県内各大学・専門学校など

(2) 第57回献血運動推進全国大会

- ・日程、場所：令和3年9月9日（木） 鹿児島県（鹿児島市民文化ホール）
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止
- ・内容：大会（式典）は中止となったが、献血推進運動に積極的に協力し、功労のあった団体等に厚生労働大臣から表彰状及び感謝状が贈呈された。
なお、高知県では以下の団体及び個人が表彰状、感謝状を受賞。

厚生労働大臣表彰状： 高知トヨペット株式会社

厚生労働大臣感謝状： 株式会社 垣内、
医療法人尚腎会 高知高須病院

(3) 愛の血液助け合い運動月間献血キャンペーン

- ・「サマキャン 2021」
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止

(4) 令和3年度献血功労者表彰式

- ・日程、場所：令和3年9月15日（水） 高知県庁2階 第一応接室
- ・内容：第57回献血運動推進全国大会における厚生労働大臣表彰状及び感謝状（上記(2)のとおり）の伝達贈呈、並びに献血の推進に積極的に協力し、他の模範となる実績を示した以下の団体に対し、高知県知事感謝状の表彰を行った。

高知県知事感謝状： 五台山石油会

3. はたちの献血キャンペーン（1月1日～2月28日）

(1) 関係資料



「はたちの献血」キャンペーンポスター
(厚生労働省作成ポスター)

【配布先】各市町村、各福祉保健所、各県税事務所、各土木事務所、各警察署、各私立高校、高知市教育委員会、県教育委員会（公立高校への掲示依頼）、県内各大学・専門学校など

(2) はたちの献血イベント

- 「はたちの献血イベントキャンペーン “今のあなたにできること”」
- ・日程、場所：令和4年1月10日（月・祝） イオンモール高知
 - ・内容：けんけつクイズラリー&運だめしおみくじ
けんけつちゃんと記念撮影コーナー
キッズコーナー（献血絵本の無料配布及び塗り絵、うちわづくり等）
大型ビジョンによる献血啓発動画の放映
献血啓発ポスターの掲示 等

4. その他キャンペーン

- ・春の献血キャンペーン：新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止
- ・サマーキャンペーン：令和3年7月18日（日）
- ・クリスマスキャンペーン：令和3年12月6日（月）、12月19日（日）
- ・バレンタインキャンペーン：新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止

Ⅲ 血液製剤の適正使用について

1. 高知県合同輸血療法委員会の開催

県内医療機関の血液製剤の使用状況を分析・評価し、情報を共有することにより、血液製剤の適正使用の推進を図るため「高知県合同輸血療法委員会」を開催。

- ・日程：令和4年3月18日（金） ZoomによるWeb開催
- ・協議事項：廃棄血・血液製剤の使用状況について
血液製剤の院内備蓄量について
高知県における血液製剤使用実態等について

第58回 高知県献血推進協議会資料（資料2）

血液事業の現状

令和 4年 3月29日(火)

高知県赤十字血液センター

本日の内容

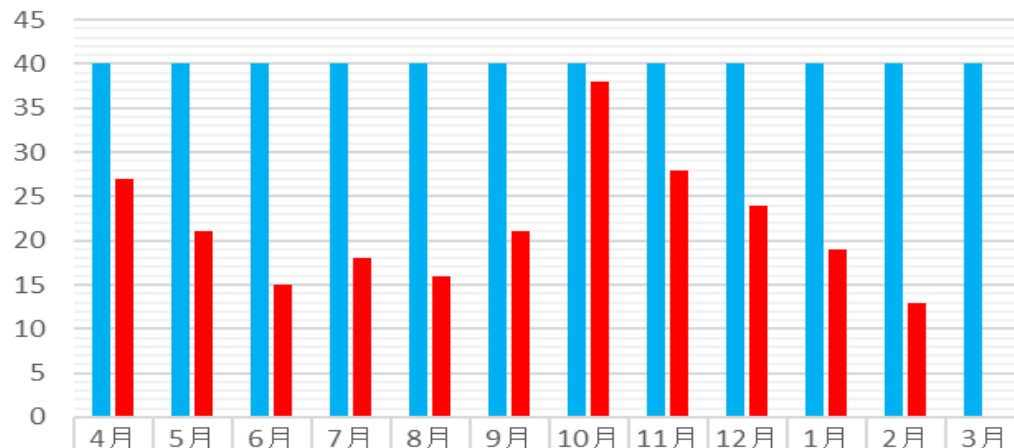
- **令和3年度 供給・献血実績報告
（4月～2月）**
- **令和4年度 献血目標量**
- **令和4年度 採血計画**

令和3年度 供給計画

種別	規格等	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛	高知県	合計	令和2年度 高知県	
		赤血球	1単位 (本)	48	12	1,200	1,216	290	80	36	48	480	3,410
2単位 (本)	13,642		12,794	48,900	69,310	39,111	20,154	26,324	35,216	19,732	285,183	19,660	
計	本数		13,690	12,806	50,100	70,526	39,401	20,234	26,360	35,264	20,212	288,593	20,140
	単位数		27,332	25,600	99,000	139,836	78,512	40,388	52,684	70,480	39,944	573,776	39,800
血漿	1単位 (本)	4	60	600	154	5	2	4	48	29	906	28	
	2単位 (本)	3,220	3,189	9,830	7,310	7,975	2,868	5,105	6,666	3,539	49,702	3,766	
	4単位 (本)	84	348	2,510	4,000	880	693	900	1,080	1,573	12,068	1,785	
	計	本数	3,308	3,597	12,940	11,464	8,860	3,563	6,009	7,794	5,141	62,676	5,579
単位数		6,780	7,830	30,300	30,774	19,475	8,510	13,814	17,700	13,399	148,582	14,700	
血小板	1単位 (本)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2単位 (本)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	5単位 (本)	0	0	128	35	0	0	2	0	0	165	0	
	10単位 (本)	3,981	4,190	12,536	29,213	8,195	5,661	5,721	7,626	5,092	82,215	5,270	
	15単位 (本)	0	0	0	12	0	0	1	0	0	13	0	
	20単位 (本)	0	0	0	12	0	2	1	0	0	15	0	
	計	本数	3,981	4,190	12,664	29,272	8,195	5,663	5,725	7,626	5,092	82,408	5,270
単位数		39,810	41,900	126,000	292,725	81,950	56,650	57,255	76,260	50,920	823,470	52,700	
合計	本数	20,979	20,593	75,704	111,262	56,456	29,460	38,094	50,684	30,445	433,677	30,989	
	単位数	73,922	75,330	255,300	463,335	179,937	105,548	123,753	164,440	104,263	1,545,828	107,200	

- 令和3年度の高知県における供給計画は「**30,445本（104,263単位）**」で計画
- 令和2年度計画と比較して「**544本（2,937単位）**」の減少

200mL赤血球製剤(本)

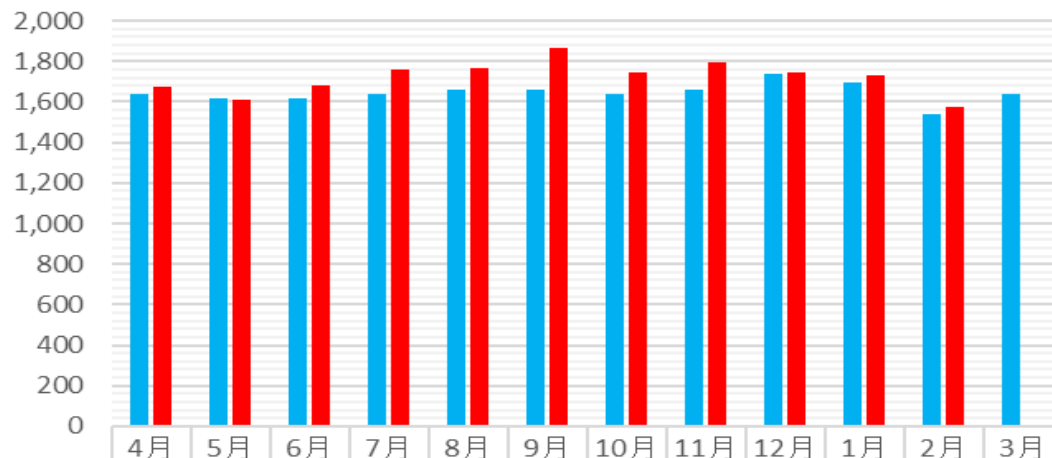


■ 200mL計画	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
■ 200mL実績	27	21	15	18	16	21	38	28	24	19	13	

計画比(4月～2月): 54. 5%

当初計画を下回る供給状況にありますが医療機関への安定供給は維持されております。

400mL赤血球製剤(本)

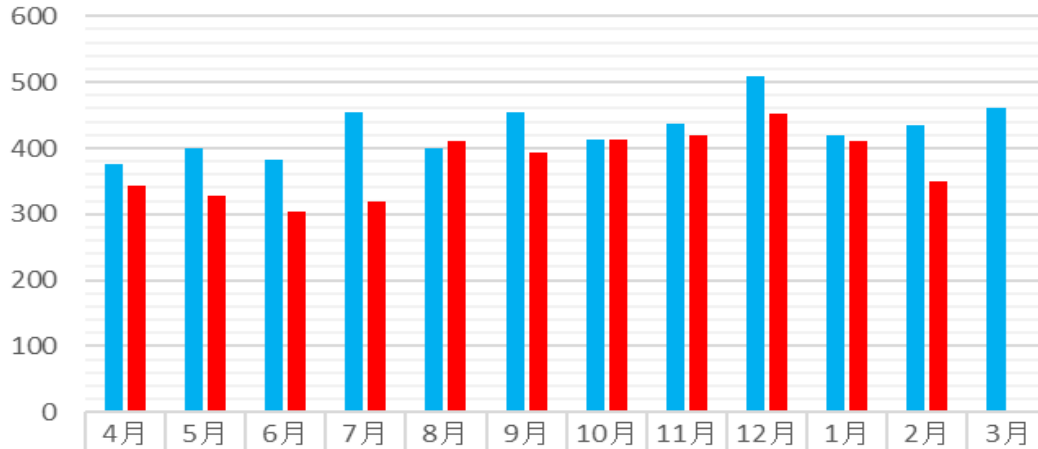


■ 400mL計画	1,638	1,617	1,617	1,638	1,658	1,658	1,638	1,658	1,737	1,698	1,537	1,638
■ 400mL実績	1,677	1,613	1,683	1,758	1,763	1,864	1,742	1,796	1,743	1,728	1,578	

計画比(4月～2月): 104. 7%

月々の供給実績に、ばらつきはありますが、ほぼ当初計画どおりの供給状況にあります。

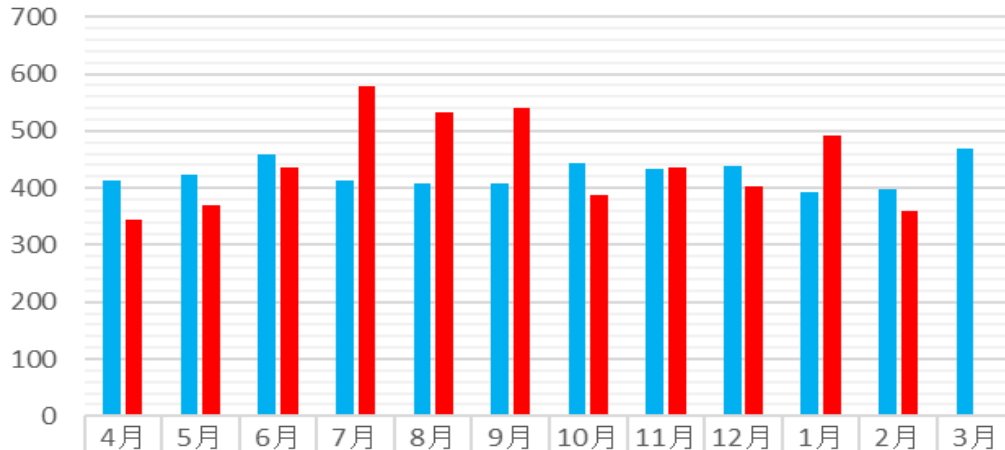
血漿製剤(本)



計画比(4月～2月): 88.5%

当初計画を下回る供給状況にあります。これは、医療機関における腹腔鏡手術や新薬による医療技術の進歩によるものと推測されます。

血小板製剤(本)



計画比(4月～2月): 105.6%

当初計画を上回る供給状況にあります。これは、血液内科での使用増加によるものと推測されます。

令和3年度 採血計画

〔本数換算〕

令和2年度

高知県

採血種別		鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛	高知県	合計		
全血	200mL	52	15	1,225	1,288	416	63	40	38	360	3,497	420	
	400mL	15,148	13,068	52,570	73,360	40,393	20,196	26,730	36,828	18,711	297,004	18,954	
	計	15,200	13,083	53,795	74,648	40,809	20,259	26,770	36,866	19,071	300,501	19,374	
成分	血小板	分割	1,472	1,707	5,734	11,396	2,209	1,369	1,713	3,112	1,510	30,222	1,391
		非分割	0	906	2,277	18,132	1,172	436	455	1,650	481	25,509	785
		計	1,472	2,613	8,011	29,528	3,381	1,805	2,168	4,762	1,991	55,731	2,176
	血漿	製品	0	0	1,875	9,401	0	0	0	1,143	0	12,419	0
		原料	4,808	5,786	17,444	10,247	6,157	6,330	8,373	9,500	7,801	76,446	7,671
		計	4,808	5,786	19,319	19,648	6,157	6,330	8,373	10,643	7,801	88,865	7,671
	計	6,280	8,399	27,330	49,176	9,538	8,135	10,541	15,405	9,792	144,596	9,847	
合計	21,480	21,482	81,125	123,824	50,347	28,394	37,311	52,271	28,863	445,097	29,221		

- ・ 令和3年度の高知県における献血者確保数は「**28,863人**」で計画
- ・ 令和2年度計画と比較して「**358人**」の減少

令和3年度 施設別稼働計画

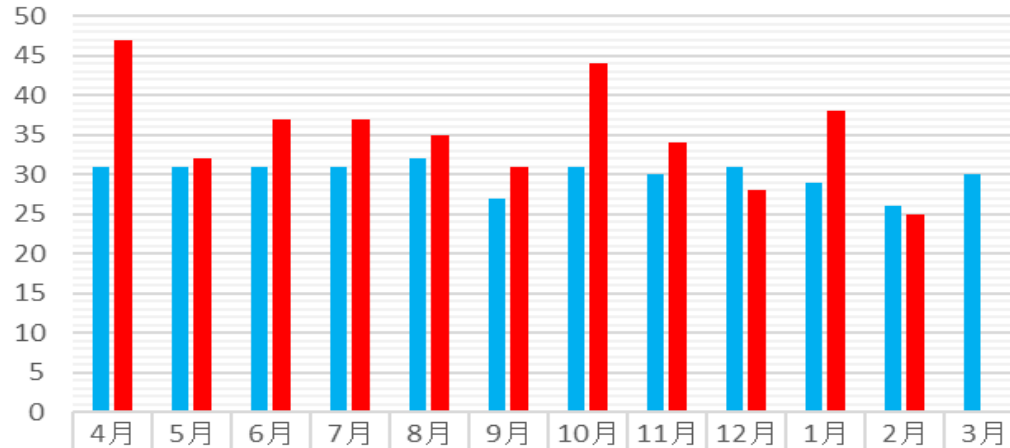
移動採血バス	310 台
献血ルーム	360 日



移動採血バス配車計画



200mL献血(人)

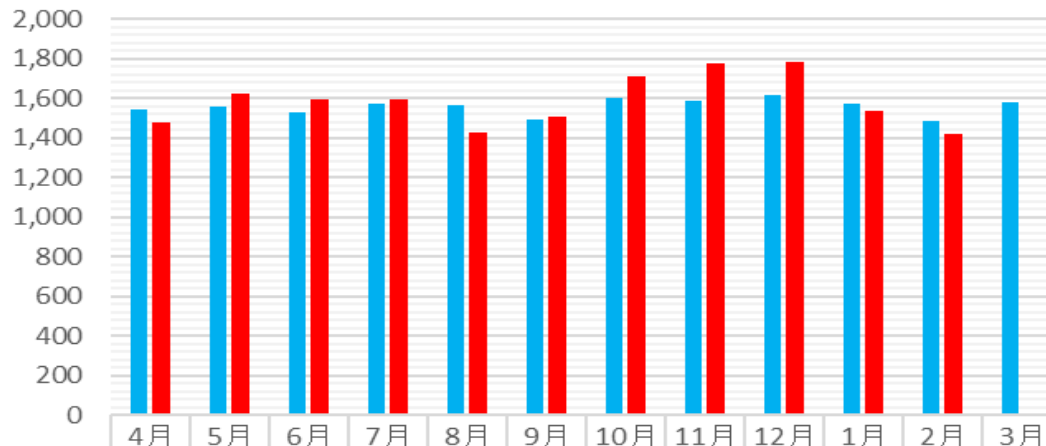


■ 200mL計画	31	31	31	31	32	27	31	30	31	29	26	30
■ 200mL実績	47	32	37	37	35	31	44	34	28	38	25	

計画比(4月～2月): 117.6%

当初計画を上回る献血状況にあります。医療機関への安定供給は維持されております。

400mL献血(人)

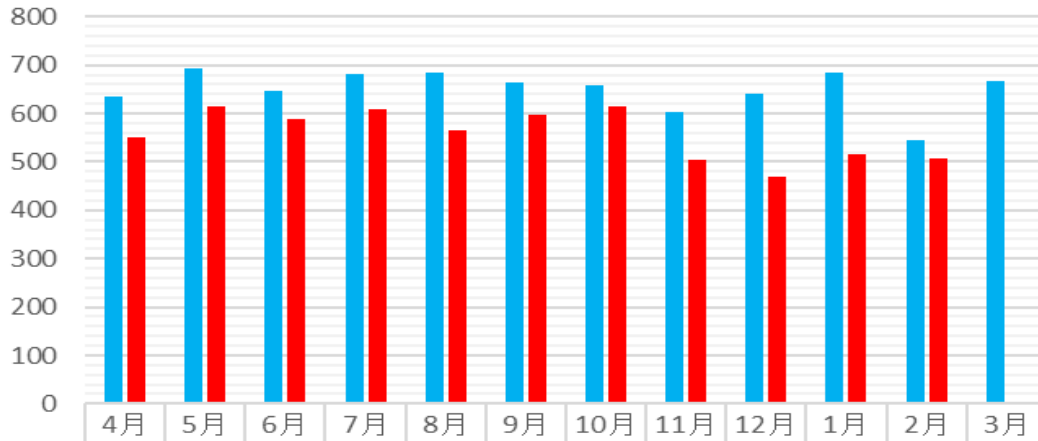


■ 400mL計画	1,545	1,560	1,531	1,570	1,564	1,496	1,606	1,585	1,616	1,572	1,484	1,582
■ 400mL実績	1,480	1,623	1,595	1,592	1,427	1,508	1,712	1,774	1,786	1,539	1,417	

計画比(4月～2月): 101.9%

ほぼ当初計画どおりの献血状況にあります。医療機関への安定供給は維持されております。

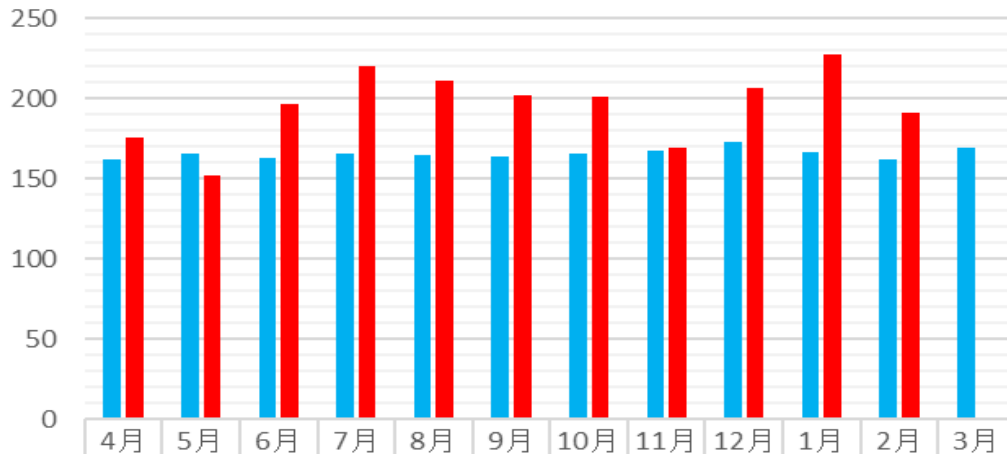
血漿献血(人)



計画比(4月～2月): 86.0%

当初計画を下回る献血状況にあります。これは、赤血球製剤の在庫状況が厳しい時期に400mL献血への振替えをお願いしたことと昨年度並みの協力が得られなかったことが要因です。

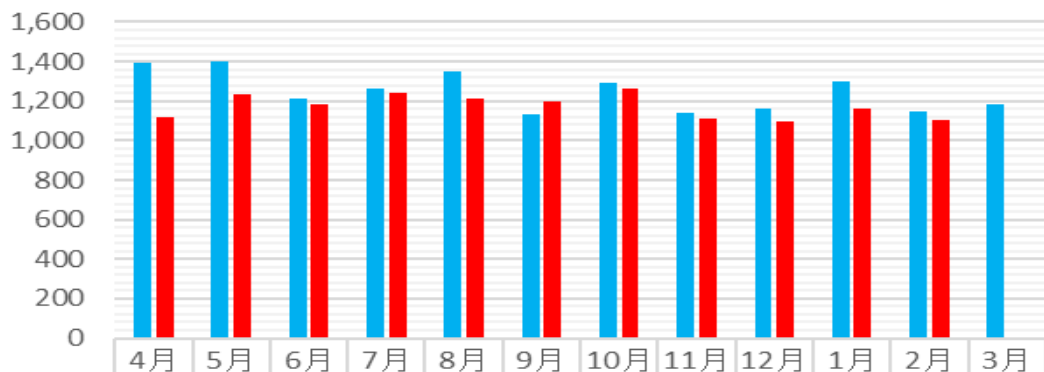
血小板献血(人)



計画比(4月～2月): 118.2%

当初計画を上回る献血状況にあります。中四国ブロック血液センターの管理下でコントロールされており、医療機関への安定供給は維持されています。

献血ルーム献血者数(人)



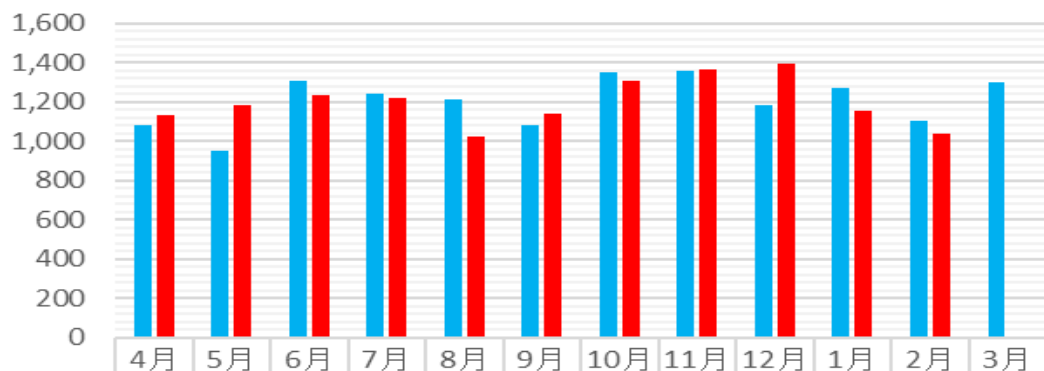
■ 令和2年度	1,396	1,403	1,215	1,265	1,353	1,136	1,289	1,139	1,160	1,299	1,146	1,186
■ 令和3年度	1,120	1,237	1,184	1,243	1,214	1,200	1,264	1,112	1,095	1,165	1,102	

■ 令和2年度 ■ 令和3年度

計画比(4月～2月): 93.7%

昨年度は、コロナ禍中でも多くの協力者がありましたが、今年度は、昨年度のような協力がないうえ、コロナ第5波及び第6波の影響等により昨年度を下回る献血状況にあります。

移動採血バス献血者数(人)



■ 令和2年度	1,082	947	1,307	1,238	1,211	1,084	1,352	1,360	1,180	1,273	1,106	1,300
■ 令和3年度	1,135	1,186	1,235	1,216	1,024	1,137	1,309	1,368	1,394	1,155	1,039	

■ 令和2年度 ■ 令和3年度

計画比(4月～2月): 100.4%

ほぼ昨年度と同様の献血状況にあります。しかし、コロナ禍では、8月の第5波と1～2月の第6波の時期は、献血者確保が非常に厳しい状況にありました。

県内献血による自給率(200mL・400mL・血小板)

◎高知県内献血による自給率(200mL献血由来赤血球製剤・400mL献血由来赤血球製剤・血小板製剤)													(本)
令和3年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
200mL供給	27	21	15	18	16	21	38	28	24	19	13		240
200mL献血	47	32	37	37	35	31	44	34	28	38	25		388
献血/供給	174.1	152.4	246.7	205.6	218.8	147.6	115.8	121.4	116.7	200.0	192.3		161.7
400mL供給	1,677	1,613	1,683	1,758	1,763	1,864	1,742	1,796	1,743	1,728	1,578		18,945
400mL献血	1,480	1,623	1,595	1,592	1,427	1,508	1,712	1,774	1,786	1,539	1,417		17,453
献血/供給	88.3	100.6	94.8	90.6	80.9	80.9	98.3	98.8	102.5	89.1	89.8		92.1
血小板供給	344	370	435	578	533	540	389	436	404	492	360		4,881
血小板献血	176	152	197	220	211	202	201	169	207	228	191		2,154
献血/供給	51.2	41.1	45.3	38.1	39.6	37.4	51.7	38.8	51.2	46.3	53.1		44.1

200mL自給率:161.7%

400mL自給率:92.1%

血小板自給率:44.1%

中四国ブロック血液センターにて、需要予測に沿った採血コントロールが行われ、過剰在庫による期限切れや需要の増加に伴う採血強化等、需要バランスを計りながら取り組み、安定供給されています。

県内献血による自給率(血漿)

◎高知県内献血による自給率(200mL献血由来血漿製剤・400mL献血由来血漿製剤・成分献血由来血漿製剤) (本)

令和3年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
血漿供給	344	328	303	319	410	393	413	419	452	411	350		4,142
200mL由来	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0		1
400mL由来	241	152	194	215	316	206	216	253	248	221	214		2,476
成分由来	103	176	109	104	93	187	197	166	204	190	136		1,665
血漿献血	2,079	2,271	2,222	2,239	2,027	2,135	2,372	2,311	2,282	2,092	1,950		23,980
200mL献血	47	32	37	37	35	31	44	34	28	38	25		388
400mL献血	1,480	1,623	1,595	1,592	1,427	1,508	1,712	1,774	1,786	1,539	1,417		17,453
成分献血	552	616	590	610	565	596	616	503	468	515	508		6,139
献血/供給	604.4	692.4	733.3	701.9	494.4	543.3	574.3	551.6	504.9	509.0	557.1		578.9

血漿自給率:578.9%

血漿は、200mL・400mL・成分献血それぞれの献血から採血されます。その内、医療機関で輸血用として使用されたものが供給本数として計上されています。その他の血漿は、血漿分画製剤用原料として使用されます。自給率が高率なのは、需要が増加している血漿分画製剤用原料を確保するために採血強化を行っているためです。

【出前講座】 ……**昨年度に比べ、学校からの実施要請が増加**

小学校（児童クラブ）10校 276名（令和2年度：1校、39名）

中学校 0校 0名（令和2年度：2校、19名）

高等学校 4校 117名（令和2年度：1校、210名）

専門学校 1校 49名（令和2年度：1校、74名）

一般（県職員新規採用者研修） 7回 177名（令和2年度：6回、155名）

【骨髄バンク事業】 ……**昨年度同様、ライオンズクラブによる登録会を自粛**

実施回数（献血併行型） 43回（令和2年度：49回）

登録者 72人（令和2年度：78人）

年 齢	目標人数	実 績	達成率	前年度実績
16歳～19歳	1,426 (前年度:1,377)	949	66.5%	937
20歳～29歳	4,522 (前年度:同数)	3,776	83.5%	3,854
30歳～39歳	5,452 (前年度:同数)	4,364	80.0%	4,709

献血者数(4月～2月) : 26,134人(対前年比:97.0%)

10代～30代献血者数 : 9,089人(対前年比:95.7%)

20歳～39歳の献血者数減少 ⇒ 学域(大学・専門学校等)への移動献血バス配車の増加

厚生労働省医薬・生活衛生局血液対策課

輸血用血液製剤・血漿分画製剤

日本赤十字社血液事業本部

日本赤十字社
中四国ブロック血液センター

採血能力等を
踏まえた調整

各都道府県薬務主管課

・協議
・調整

高知県赤十字血液センター
(地域センター)

地域血液センター

献血者



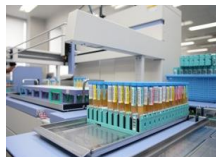
400mL献血

200mL献血

成分献血



ブロック
血液
センター
(製造所)



血液の
検査・製造

地域血液センター



赤血球 製剤



血 漿 製剤



血小板 製剤

原 料 血 漿

125.3 万L
(前年度から2万L増)

医療機関



輸血医療の実施

国内製薬
メーカー



血漿分画製剤

◀ 令和4年度採血計画 ▶

- ◎ 令和3年度採血計画に基づく「センター別の採血割合」を用い、按分したものを採血数とする。
- ◎ 移動採血車台数や協力事業所の規模・数等を考慮し、**各センターの「採血能力」により計画を策定**

令和4年度 供給計画 (案) (中四国ブロック管内)

種別	規格等	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛	高知県	合計	高知県 R3年度	
赤血球	1単位 (本)	48	12	1,184	1,116	290	80	24	48	360	3,162	480	
	2単位 (本)	14,038	12,684	47,332	70,706	39,485	20,662	26,346	35,876	19,834	286,963	19,732	
	計	本数	14,086	12,696	48,516	71,822	39,775	20,742	26,370	35,924	20,194	290,125	20,212
		単位数	28,124	25,380	95,848	142,528	79,260	41,404	52,716	71,800	40,028	577,088	39,944
血漿	1単位 (本)	4	84	606	220	2	2	2	48	29	997	29	
	2単位 (本)	3,990	3,002	9,912	7,980	8,235	2,981	5,873	8,620	3,400	53,993	3,539	
	4単位 (本)	84	403	2,531	4,498	1,200	624	1,154	1,300	1,413	13,207	1,573	
	計	本数	4,078	3,489	13,049	12,698	9,437	3,607	7,029	9,968	4,842	68,197	5,141
		単位数	8,320	7,700	30,554	34,172	21,272	8,460	16,364	22,488	12,481	161,811	13,399
血小板	1単位 (本)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2単位 (本)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	5単位 (本)	0	4	120	131	0	0	0	0	0	255	0	
	10単位 (本)	3,765	4,100	11,898	28,542	7,619	4,900	5,847	7,912	4,843	79,426	5,092	
	15単位 (本)	0	0	0	9	0	0	0	0	0	9	0	
	20単位 (本)	0	0	0	6	0	0	0	0	0	6	0	
	計	本数	3,765	4,104	12,018	28,688	7,619	4,900	5,847	7,912	4,843	79,696	5,092
		単位数	37,650	41,020	119,580	286,330	76,190	49,000	58,470	79,120	48,430	795,790	50,920
合計	本数	21,929	20,289	73,583	113,208	56,831	29,249	39,246	53,804	29,879	438,018	30,445	
	単位数	74,094	74,100	245,982	463,030	176,722	98,864	127,550	173,408	100,939	1,534,689	104,263	

令和4年度の高知県内における供給計画は、「**29,879本 (100,939単位)**」とし、令和3年度計画と比較して「**566本 (3,324単位)**」の減少となった。

〔本数換算〕

採血種別		鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛	高知県	合計	高知県 R3年度	
全血	200mL	50	13	1,216	1,142	298	83	25	50	370	3,247	360	
	400mL	15,458	13,674	53,035	72,553	40,885	19,937	26,762	36,313	19,125	297,742	18,711	
	計	15,508	13,687	54,251	73,695	41,183	20,020	26,787	36,363	19,495	300,989	19,071	
成分	血小板	分割	1,135	1,786	6,017	11,926	2,182	1,455	1,798	3,266	1,585	31,150	1,510
		非分割	272	466	1,957	15,546	570	380	391	710	414	20,706	481
		計	1,407	2,252	7,974	27,472	2,752	1,835	2,189	3,976	1,999	51,856	1,991
	血漿	製品	0	0	2,060	10,325	0	0	0	1,255	0	13,640	0
		原料	4,954	6,245	17,095	9,334	7,633	7,166	8,506	12,323	8,100	81,356	7,801
		計	4,954	6,245	19,155	19,659	7,633	7,166	8,506	13,578	8,100	94,996	7,801
	計	6,361	8,497	27,129	47,131	10,385	9,001	10,695	17,554	10,099	146,852	9,792	
合計	21,869	22,184	81,380	120,826	51,568	29,021	37,482	53,917	29,594	447,841	28,863		

令和4年度の高知県内における献血者確保数は、「**29,594人**」とし、令和3年度計画と比較して「**731人**」の**増加**となった。

令和4年度 施設別稼働計画

移動採血バス	316 台
献血ルーム	360 日



移動採血バス配車計画



承認申請中

令和4年度 供給計画 と 採血計画 (案)

月別供給計画(赤血球・血漿・血小板)													(本)
供給	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
200mL	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	360
400mL	1646	1626	1626	1646	1650	1666	1646	1650	1746	1706	1580	1646	19834
血漿	355	380	363	424	380	434	392	417	451	399	415	432	4842
血小板	402	403	435	402	400	392	424	420	420	382	360	403	4843

* 血漿製剤には、成分献血及び200mL・400mL献血から製造されたものが含まれる

月別採血計画(赤血球・血漿・血小板)													(人)
採血	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
200mL	32	30	29	29	30	33	33	29	33	29	30	33	370
400mL	1578	1575	1572	1614	1576	1547	1655	1602	1675	1605	1503	1623	19125
血漿	653	727	658	700	722	688	672	643	641	715	580	701	8100
血小板	167	166	167	168	167	165	170	166	171	167	156	169	1999

令和3年度計画との比較

供給計画（本）			
令和3年度		令和4年度	
200mL	480	360	▲120
400mL	19732	19834	102
血漿	5141	4842	▲299
血小板	5092	4843	▲249

採血計画（人）			
令和3年度		令和4年度	
200mL	360	370	10
400mL	18711	19125	414
血漿	7801	8100	299
血小板	1991	1999	8

- ・供給計画においては、200mL赤血球製剤が減少、400mL赤血球製剤が増加する計画、血漿製剤・血小板製剤は減少する計画
- ・採血計画においては、全ての献血において増加する計画

受入強化への取り組み

- ① 献血ルームにおける成分献血者の採血種類調整
- ② 献血ルームにおける400mL献血から成分献血（特に血漿）へのシフト
- ③ 移動献血車における400mL献血の推進と1稼働強化
- ④ 採血施設毎の役割分担と複数回献血の推進強化
- ⑤ その他

【中四国ブロック】令和4年度 原料血漿確保目標量 (案)

ブロック	令和4年度確保目標量 (単位 ; リットル)			凝固原料比率	一般原料比率
	凝固因子用原料 (C区分)	一般原料 (N区分)	合計		
鳥取	0	6,529	6,529	0.0%	100.0%
島根	227	6,592	6,819	3.3%	96.7%
岡山	1,897	19,587	21,484	8.8%	91.2%
広島	5,688	16,922	22,610	25.2%	74.8%
山口	1,142	10,428	11,570	9.9%	90.1%
徳島	0	8,820	8,820	0.0%	100.0%
香川	495	9,824	10,319	4.8%	95.2%
愛媛	541	15,045	15,586	3.5%	96.5%
高知	0	9,200	9,200	0.0%	100.0%
合計	9,990	102,947	112,937	8.8%	91.2%

原料血漿確保目標

中四国ブロック (中国四国9県) : 112,937 L (前年度から1,602L増)

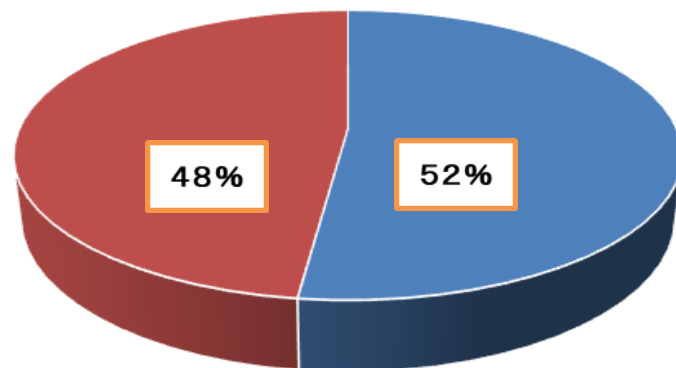
高知県 : 9,200L (前年度から292L増)

	令和3年度	令和4年度	対前年度比
供給数 (本)	30,445	29,879	▲566 (98.1%)
原料血漿確保量 (L)	8,908	9,200	292 (100.6%)
献血者数 (人)	28,863	29,594	731 (102.5%)
稼働 献血ルーム(日)	360	360	0
移動採血バス(台)	310	316	6 (101.9%)

献血ルーム

採血種別	採血計画(人)
200mL	370
400mL	4,920
血漿	8,100
血小板	1,999
合計	15,389

採血施設別割合

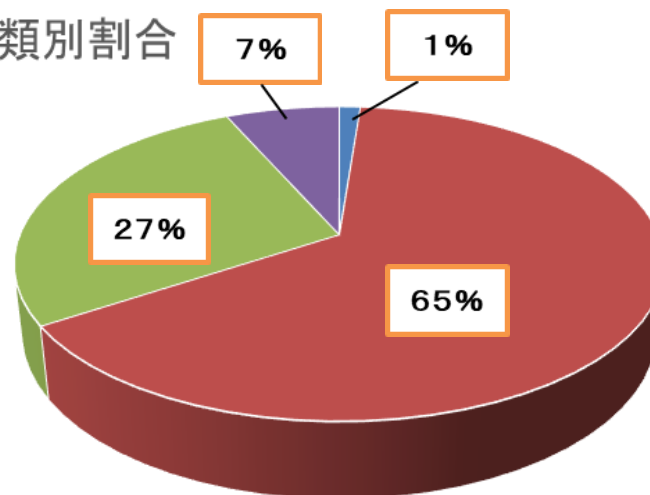


■ 献血ルーム ■ 移動採血バス

移動採血バス

採血種別	採血計画(人)
400mL	14,205

採血種類別割合



■ 200mL ■ 400mL ■ 血漿 ■ 血小板

献血会場における 新型コロナウイルス 感染対策について

ご入場時のお願い

マスク着用 <small>※マスクをお持ちでない方は職員へお申し出ください</small>	体温測定 <small>※発熱が確認された方は入場をご遠慮いただいています</small>	手洗い又は手指消毒

混雑・密集回避のためのお願い

事前予約 <small>※予約時間にお越しください。 (予約されていない場合にはスタッフにお声がけください)</small>	少人数でご来場 <small>※おしゃべりは控えてお願いします</small>	十分に休憩した後は速やかな帰宅

職員と会場内の取り組み

職員のマスク着用・体温測定・手指消毒の徹底	換気と消毒清掃の徹底	手指消毒液の設置

別紙 1 (R3年9月8日改訂)

新型コロナウイルス感染症対策として 以下に該当する方は

「献血」をご遠慮いただいております。

- ◆ 新型コロナウイルス感染症と診断された、または新型コロナウイルス検査（PCR または抗原検査）で陽性になったことがあり、**症状^{※1}消失後**（無症状の場合は陽性となった検査の検体採取日から）**4週間以内の方**
- ◆ 新型コロナウイルス感染症が疑われる**症状^{※1}**があり、新型コロナウイルス検査（PCR または抗原検査）を受け、結果が陰性であったが、**症状出現日から2週間以内及び症状消失から3日以内の方**
- ◆ 現在、発熱及び咳・呼吸困難などの急性の呼吸器症状を含む新型コロナウイルス感染症が疑われる**症状^{※1}**や、**味覚・嗅覚の違和感を自覚する方**
- ◆ 保健所から新型コロナウイルス感染者の**濃厚接触者^{※2}**と判断され、**最終接触日から2週間以内の方**

※1 発熱、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐など
 ※2 「濃厚接触者」とは、「患者（確定例）」の感染可能期間（発症2日前*から入院や自宅待機を開始するまでの間）に接触した方のうち、次の範囲に該当する方です。*「無症状病原体保有者」の場合は、「検体採取2日前」とする。
 ● 患者（確定例）と同居あるいは長時間の接触（車内、航空機内等を含む）があった方
 ● 適切な感染防護なしに患者（確定例）を診察、看護若しくは介護していた方
 ● 患者（確定例）の気道分泌液もしくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い方
 ● 手で触れることの出来る距離（目安として1メートル）で、必要な感染予防策なしで、「患者（確定例）」と15分以上の接触があった者
 （国立感染症研究所 「新型コロナウイルス感染症患者に対する積極的疫学調査実施要領」（2021年1月8日暫定版）参照）

新型コロナウイルス感染症に対する取り組み

当社では従来より、感染症対策を行っていますが、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、さらに徹底した対策を行い、安全な献血会場の運営に取り組んでいます。

【職員の健康チェックを徹底しています。】

- ✦ 日々の実施している健康チェックに加えて、出勤前・出勤時に体温測定を徹底しています。

【職員の手指消毒を徹底しています。】

- ✦ 職員の出勤時、献血会場入退室時。
- ✦ 献血受付時、問診時、献血カード更新時。
- ✦ 看護師は献血者ごとに手袋を交換しています。

【献血会場の良好な衛生環境を保持しています。】

- ✦ 献血会場にて使用する機材は日々、消毒液を用いて清掃しています。
- ✦ 献血会場の入口で体温測定をするなど、良好な衛生環境に配慮した会場設営をしています。

《皆様へのお願い》

- ◇ 献血会場では入口に備えている消毒液にて手指消毒をお願いしています。
- ◇ 入口にて体温測定を実施しています。
(発熱が確認された方については献血会場への入場をご遠慮いただいています。)
- ◇ 必ず、マスクの着用をお願いしています。

※介助者等付き添いの方もお願いします。

新型コロナウイルス感染の拡大下でも、
毎日約 13,000 人の方からの献血のご協力が必要です。
尊い命を救うために、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

令和3年1月に開催された献血推進調査会で、令和3年度から令和7年度までの5年間を目標期間とする新たな中期目標「献血推進2025」を設定しました。

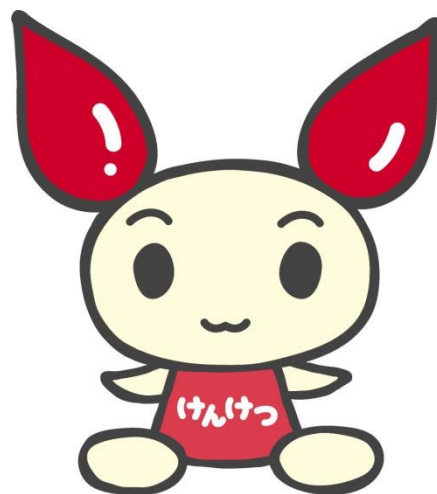
項目	目標の定義	令和7年度目標値	令和元年度実績値
若年層の献血者数の増加	若年層(16歳~39歳)の人口に対する献血者数の割合(献血率)	6.7% [参考10代:6.6% 20代:6.8% 30代:6.6%]	5.7% [参考10代:5.5% 20代:5.7% 30代:5.5%]
安定的な献血の確保	献血推進活動に協力いただける企業・団体の数	70,000社	59,280社
複数回献血の推進	年に2回以上献血された方(複数回献血者)の人数	1,200,000人	983,351人
献血Webサービスの利用の推進	献血Web会員サービス「ラブラッド」の登録者の人数	5,000,000人	2,035,145人

(注)10代とは、献血可能年齢である16歳~19歳を指す。

高知県赤十字血液センターは、広域事業運営体制のもと、中四国ブロック管内の1センターとして、課せられた役割を果たすとともに、県内の医療機関に安定的に血液製剤をお届けするよう、職員一丸となり献血推進に努めてまいります。



ご清聴ありがとうございました



献血キャラクター

けんけつちゃん